

令和6年度碧南市心身障害者福祉センター指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和6年8月8日（木）午前10時から午前10時30分まで

2 場所

碧南市役所2階 会議室3

3 出席者

(1) 出席委員

碧南市 副市長 山本 政裕（委員長）

東海税理士会刈谷支部支部長 伴野 義雄

碧南市身体障害者福祉協会代表 鈴木 たか子

碧南市手をつなぐ育成会代表 三浦 志朗

民生委員児童委員協議会代表 杉浦 義隆

碧南市 総務部経営企画課長 山本 貴史

(2) 事務局職員

福祉こども部長 深津 広明

福祉課長 鈴木 善三

福祉課社会福祉係 係長 山本 昌弘

(3) 指定管理者

碧南市社会福祉協議会 局長 中川 英治

碧南市社会福祉協議会 管理課長 谷 広樹

碧南市社会福祉協議会 管理課長補佐 池田 貴文

碧南市心身障害者福祉センター 菊田 武司

4 傍聴者

0名

5 議題

(1) 令和5年度管理状況及び利用状況について

(2) 令和5年度収支決算状況について

(3) 令和6年度事業計画について

(4) 令和6年度収支予算について

(5) その他

6 議事の要旨

(1) あいさつ（山本委員長）

(2) 議題

ア (1)令和5年度管理状況及び利用状況について及び(2)令和5年度収支決算状況について指定管理者が会議資料に基づき、議題(1)及び(2)を相互の関連があるため一括して説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【委員】

収支報告について、資料6ページの諸謝金と資料4ページの諸謝金の金額の違いは何か。

【指定管理者】

資料6ページのコличествоは精神障害者居場所事業「ころころ」を含めての金額であり、資料4ページのコличествоは障害者デイサービス事業のみ諸謝金である。

【委員】

センターに対し、意見箱を通じての意見はないとのことだが、口頭で意見をもらっているのであれば、記載をしてほしい。

【指定管理者】

了解した。

【委員】

陶芸教室やフラワーアレンジメント教室の成果物は掲示しているのか。

【指定管理者】

成果物は持ち帰りが基本。展示ケースで展示する場合もある。碧南市の作品展での展示を行っている場合もある。

イ (3)令和6年度事業計画について及び(4)令和6年度収支予算について指定管理者が会議資料に基づき、議題(3)及び(4)を相互の関連があるため一括して説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

【委員】

「きづなあぐ」というイベントはあいくるで実施されているのか。

【事務局】

昨年は碧南市生75周年記念事業として明石公園で実施された。令和6年度はあいくるで実施予定。

【委員】

収支報告について、確認だが、資料6ページの諸謝金が昨年度に比べ増えているがその理由は何か。

【事務局】

パン作り教室の実施回数を増やしたことによる増。その他、精神障害者居場所事業「ころころ」の諸謝金を計上。

【委員】

資料4ページのたのしいデーについて、5年度決算額は0円だが、6年度の予定はどうか。

【事務局】

たのしいデーについては、ボッチャを実施した。5年度は職員が対応したため、謝礼が不要だった。6年度はより実践的な内容とするため、講師を呼ぶ予定であり、謝礼が必要となる見込み。

【委員】

ボッチャはパラリンピックの競技種目。障害者スポーツが活発になるよう、今後とも注力してほしい。

【指定管理者】

了解した。

【委員】

身障センターとして車両は何台保有しているのか。

【事務局】

1台。

【委員】

身障センターの設備は何があるのか。

【事務局】

パソコン4台や陶芸教室用の窯などがある。

【委員】

身障センターの財産目録を作成したらどうか。

【事務局】

検討する。

ウ (5)その他議題

【委員】

デイサービスについて、定員割れしている。参加者も重複している。事業実施について知らない人が多いように思う。周知を積極的に行ってほしい。

【事務局】

引き続き、注力していく。